うれしの

議会だより

嬉野保育所も指定管理者へ
１２月補正予算 …… 2P～4P
議会基本条例制定にむけて …… 5P
こんな陳情がありました …… 7P
師走の議会で思いをこめて
一般質問　１５人 …… 8P
委員会は南へ北へ …… 18P

第12号 12月定例議会　平成21年1月26日発行

【写真】湯野田地区のしめ縄作り

議会

議案質疑

平成20年12月定例議会が、12月5日から17日までの13日間の日程で開催されました。

提出された議案は、一般会計予算（1億6057万9000円の補正、当初からの総額は115億5235万6000円）・国民健康保険など特別会計補正予算5件・水道事業会計補正予算です。

また、条例の制定および一部改正は、嬉野市廃棄物の処理及び清掃並びに浄化槽に関する条例など7件、指定管理者の指定5件などが提案され、慎重審議の結果、賛成多数で全議案が可決されました。

一般質問は15名が3日間にわたり、市政を質しました。

※賛否表は6P参照

嬉野保育所も指定管理者へ

指定管理者制度とは、公の施設を民間事業者などに管理を委託し、民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上をはかる目的で導入された制度で、今回は5施設が指定されました。

このうち、次の4施設については、平成18年の4月以来2回目の指定となります。

「大野原地区コミュニティーセンター」に大野原区自治会。

「嬉野老人福祉センター」に嬉野市社会福祉協議会。

「湯っくらーと」に嬉野町社会事業助成会。

「志田焼の里博物館」に志田焼の里振興会。

また、今回はじめての指定となる「嬉野保育所」には社会福祉法人ルンビニ福祉会が指定されました。

また、嬉野保育所については20年3月に嬉野市保育所運営適正化検討委員会からの「民営化（指定管理者制度の活用）をおこない、円滑な民間移譲に取り組むべき」との答申を受け、6月議会において、嬉野保育所の運営管理を指定管理者におこなわせることができるよう条例改正をおこないました。

これを受けて、指定管理者の応募の条件に、指定期間終了後完全民営化（民設民営）としての運営へ円滑に移行できるよう、その準備などの方策に最大限の努力をすることとしています。

指定管理者制度については、全国的にも色々な問題点が指摘されており、各自治体においても試行錯誤の取り組みがおこなわれています。

嬉野市としても、公の施設の管理、運営を指定管理者に「丸投げ」する制度とするのではなく、設置者としての責任を負っていることを忘れず取り組んでいくことが求められます。

▲老いも楽しく 湯っくらーとで

12月定例

新型インフルエンザに備えて

近い将来必ず発生するといわれている「新型インフルエンザ」に備え、補正予算433万5000円が計上されました。

この予算で防護品（ガウン・ゴーグル・キャップ・ブーツカバー・マスク・手袋）を1750セット購入し備蓄します。

この防護品は市民の方の問い合わせなどで市職員や関係者が現場に着用していくなど初動の調査に必要で、市役所などの閉鎖できない場所や学校でも使用します。

また行政嘱託員や地域の協力者にも着用していただく場合があります。

さらにマスク5000個・手袋5000個も準備するように予定しています。

発生すれば直ちに対応できる体制づくりが望まれます。

▲インフルエンザ防護服のサンプル

水道水の両地区間の相互利用を

塩田地区と嬉野地区の配水管を接続し、緊急（災害）時などに利用できるように、との目的で開始された水道施設統合事業に50万円が追加され、2750万円となりました。

このうち2700万円は、合併補助金が充当されます。

現在、嬉野地区は主に清水浄水場から、塩田地区は佐賀西部広域水道企業団から配水を受けていますが、統合により水道水の相互利用が可能になります。

これにより、塩田地区が水不足のときは清水浄水場等から、嬉野地区が水不足のときは企業団から配水を受けるということができ、緊急時には近辺の住民はもちろん、広範囲の住民が利益を受けることになります。

なお、配水管の接続工事は大草野付近でおこなわれる予定です。

▲両地区の水道管連結工事（大草野五代）

嬉野小・轟小玄関の雨漏りを防げ

▲小さな雨漏りも早めの補修を（轟小）

玄関雨漏り補修費用として、嬉野小学校に２３０万円、轟小学校に２００万円の補正予算が計上されました。

嬉野小学校は平成６年に建設されましたが、５年ほど前から玄関張り出し屋根の明かり取り天窓から雨漏りが見られ、ひび割れ箇所にコーキング補修などで、応急処置がされていましたが、今回専門業者による防水処理工事をおこなうこととなりました。

轟小学校については平成元年に建てられましたが、数年前から玄関張り出し屋根の天井に雨漏りの染みがみられ、昨年は特に雨漏りがひどく防水処理工事が必要となりました。

また、階段脇の郵便受けの雨漏りなども専門家による調査が必要です。

子ども達にとって、長時間を過ごす学校施設の環境には、一層の配慮を望みます。

古湯温泉の石段を整備

古湯横にある石段の修復工事に、今回２００万円の補正予算がつけられました。

この階段は、いつの時代に、誰によって造られたのかは定かではありませんが、現在の状況を見ると非常に危険な状態で、薬師堂のクスの木を含めた再整備や、修復が望まれています。

この付近は、平成20年に整備が完了した温泉公園、それに塩田川（嬉野川）を中心にした、温泉場らしい旅館街のまち並みなどもあり、嬉野温泉の原風景をかもし出す観光スポットとして、嬉野市にとっては、大変重要な地区です。

古湯温泉の整備もこれから本格的に始まり、古湯一帯の整備は、平成20年３月に策定された嬉野市景観基本計画の主旨に沿って、慎重に取り組んでいく必要があります。

▲温泉薬師堂脇の石段の道、改修します。

暴力団等による暴力の根絶を

決議

嬉野市では、平成19年12月、「安全・安心のまち」を宣言し、銃器等犯罪の根絶に関する意見書を国の機関に対して提出した。

市民の安全意識の高揚と自主的な安全活動の推進を図り、市民生活の安全と平和で豊かな市の発展を目指し、取り組んでいるが、依然として暴力団の抗争事件が県内や九州各地において頻発し、みやき町においては指定暴力団関連施設の進出が進められようとしている。

このような暴力団の行為は平和で安全な生活を願う市民に対する重大な挑戦であり、断じて許すことは出来ない。

よって、我々は、暴力団の存在を許さないという決意のもとに、暴力のない明るく豊かな社会を実現するため、市民・警察・行政・議会などの強力な結束により、市民の総力を結集し、全力を挙げて暴力の根絶にまい進するものである。

佐賀県嬉野市議会

▲暴力のないまちづくりを

議会制度改革特別委員会を設置

地方自治体は、市長と議会の二元代表制をとっており、それぞれ市民から選挙で選ばれます。

近年は地方分権が進み、地方自治体も国から自立した運営が求められるようになり、自らの決定と責任において、それぞれの地域の特色を生かした個性のあるまちづくりに取り組まなければなりません。

このような中、住民本位のまちづくりのために、自治基本条例や議会基本条例を制定する自治体が増えつつあります。

嬉野市議会でも、行政と議会との緊張ある関係を保ち、政策や事務執行への監視機能や、立法機能を強化して議会の活性化をはかるため、一方で市民に対しては、開かれた議会、市民参加推進で活力ある議会をつくるため、議会制度改革特別委員会を設置し、調査・研究を行っていきます。

この委員会は21年6月議会での議会条例制定ができるよう協議を進めていきます。

議会制度改革特別委員会
委員長　田中政司
副委員長　副島敏之
委員　山田伊佐男
委員　平野昭義
委員　山口榮一
委員　川原　等

▲議会改革の先進地（北海道栗山町）

討論　嬉野保育所の指定管理について

反対

コスト削減のみのアウトソーシングに反対

山田伊佐男 議員

私がトップである限り嬉野保育所は公立で運営し、子育て支援の核としたいとの考えを、指定管理者制度の導入が可能になったことを理由に簡単に反故にされた。

首長としての言葉の重さをどのように考えておられるのか私には理解できない。

本市の少子化対策の一環としての保育事業、子育て支援のあり方等々、行政の果たすべき責務を放棄し、低コストの指定管理者ありきの姿勢に疑問を感じる。

コスト削減を目的とするアウトソーシングは、結果として本市における雇用の不安定化と、定住希望の若者を追い出す結果となり反対する。

▲ 議論になった保育所

賛成

民間委託は全国的な傾向である

野副　道夫 議員

昨年の6月議会において保育所条例の一部を改正する条例が賛成多数により可決され、その折にも私は民間でできることは民間で、という立場で討論をおこなった。

当市としても財政的に非常に厳しい状況にあり、全国的な傾向を見ても公立の保育所の民間委託あるいは身売りなどが進められている。

さらには、保育理念、また保育内容などにおいても、民間の保育園が公立保育所に劣っているとは考えられず、特に民間の保育園は、経営に対して非常に危機感をもっていることをうかがい知ることができる。

市として財政改革の視点から、今回の民間委託は時機を得た対応であると考え、賛成の意を表する。

賛否表

番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	16	17	18	19	20	21
	結果 / 表決数	小田寛之	大島恒典	梶原睦也	秋月留美子	園田浩之	副島孝裕	田中政司	川原　等	織田菊男	芦塚典子	神近勝彦	太田重喜	山口榮一	野副道夫	副島敏之	田口好秋	西村信夫	平野昭義	山田伊佐男	山口栄秋
職員定数条例の一部改正(専決)	承認 19:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
廃棄物の処理及び清掃・浄化槽に関する条例の一部改正	可決 18:2	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
老人福祉センターの指定管理者指定について	可決 19:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
湯っくらーとの指定管理者指定について	可決 19:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
嬉野保育所の指定管理者指定について	可決 19:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
一般会計補正予算	可決 19:1	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国保特別会計補正予算	可決 20:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成　●は反対

陳情

取り扱いが変わりました

12月2日の全員協議会にて「陳情の取り扱い」について協議がなされました。

前定例議会までは陳情を常任委員会へ付託し審査していましたが、今後は付託をせず、本会議では報告のみおこない、他の地方議会同様に請願と陳情を明確に区別して取り扱うことに決まりました。

今回報告された陳情は、以下の8件です。

介護病養病床の中止を求める

●陳情者
佐賀県保険医師会
会長　藤戸　好典

肺炎球菌ワクチンの公費助成を求める

●陳情者
佐賀県保険医協会
会長　藤戸　好典

通学路の整備を求める

●陳情者
久間小学校ＰＴＡ
会長　田中　豊樹
久間地区区長会
会長　柿原　正人

消防施設（防火水槽）の新設について

●陳情者
下岩屋二区
区長　永末辰次郎

平成21年度嬉野市商工観光振興事業費補助金を求める

●陳情者
嬉野市商工会
会長　鐘ヶ江清秋
嬉野温泉観光協会
会長　山口　保
嬉野温泉旅館組合
理事長　山口　保
嬉野温泉商店街協同組合
理事長　荒川　良平

ペット異動火葬車不使用宣言を

●陳情者
日本動物霊園連合
会長　久喜　清外

平成21年度財政的援助を求める

●陳情者
鹿島藤津地区医師会立
看護高等専修学校
校長　織田　正道

九州新幹線西九州ルートに伴う地元企業の活用と参加できる要件設定を

●陳情者
嬉野市商工会
会長　鐘ヶ江清秋

次ページから

15人が一般質問

師走の議場で思いを込めて

問 社会文化体育館は年度内（3月）に決断せよ

平野　昭義　議員

答 次年度に推進委員会をつくれるよう議会に相談する

平野　市長は、「融和と歓声が聞こえるまちづくり」を公約とされているが、地域の意見は聞いてきたのか。

市長　地区の集会や各団体の意見交換をし、その中で学校・下水道・農業などさまざまなご意見は聞いた、ご意見についても早く取り組みたい。

平野　塩田町の有権者73・3㌫（ポイント）　6787名の署名の重みを、どう受け止めてきたのか。

市長　建設に向けてのご意見と考えるので、努力していきたい。

平野　老人会の総会は、冷たく堅い板張りに座られ開かれた。

　市長に早期建設決議文が渡されたと聞くが、どう対処されたのか。

市長　私も利便性のある施設を望んでいるが、社会教育団体として政治的判断をするように、との文言に「違和感」を覚えた。

　しかし、意見は意見として受けとめている。

平野　塩田町民の総意に従い年度内に決着し、新年度には建設工事の計画を進めるべきでないか。

市長　今後は建設の方向性を定め、次年度に推進委員会を作れるよう、議会に相談していく。

問 子どもへのインフルエンザ予防接種助成をすべきだ

梶原　睦也　議員

答 担当課とも協議している

梶原　次々と学級閉鎖や学校閉鎖が続いている。

　インフルエンザの流行が年々早まってきており深刻な問題だ。

　インフルエンザ予防接種助成は65歳以上の方は実施されている。

　子どもへのインフルエンザ予防接種助成は是非、実施すべきだ。

　市長は以前の私の質問に対し、「医学的にもいろんな課題があり選択性になっていると思うが調査させていただく」と答弁されたが、その調査結果と子供へのインフルエンザ予防接種助成についての見解は。

市長　現在は自己負担でお願いしている。

　複数の子供さんになれば、負担も相当額になる。

　一部の補助でも出来ないか前向きに検討し、担当課とも協議をしている。

梶原　現在、インフルエンザの増殖をとめる薬剤はタミフルとリレンザがあるが、ウィルスを殺す薬はない。

　だからこそインフルエンザ対策は人間が持つ免疫力を生かすワクチン接種がかぎであり、接種した人の7割は重症化をさけることができる。

　そういった意味でも是非、子供たちへのインフルエンザ予防接種助成をすべきだ。

▶インフルエンザ予防ポスター（厚生労働省）

市長　インフルエンザはワクチン接種が効果的だ。

　接種については多くの子供さんをお持ちの方にとっては負担感があるので幾らかでも軽減できるよう前向きに努力検討する。

梶原　学校現場でのインフルエンザ予防接種による効果と期待は。

教育長　学校での予防接種率は進んでいる。

　予防接種は積極的に進めていきたい。

認知症のための見守りサポーター派遣事業

梶原　認知症の方から目が離せないためどうしても家族の方が家を空ける事ができない時に、代わって見ていただく見守りサポーター派遣事業を本市でも取り組むべきと考えるが。

健康福祉部長　見守りサポーター派遣事業は、いい制度と理解している。

　サポーターの養成を行い展開できないか考えていきたい。

▲ 少子化に歯止めがかかるか

人口増対策に結婚奨励金を

平野　市の人口は年々減少している。

結婚の晩婚化、男性・女性の未婚の増加は地域や家族の崩壊が危惧される。

市役所の総務課に「家族安心推進室」を設置し取り組むべきでないか。

市長　現在広域圏で取り組んでいるが、数組の成果を得ている。

家族安心推進室については、民生委員会など地域の意見を聞き、検討していけばよりよい対応ができると考える。

平野　結婚を推進するために、「結婚奨励金」の支援はできないか。

市長　一般会計の単独予算でなく、国・県と連動したほうが高額で範囲も広くなる。

また、現金給付でなく施策としたほうが成果があると考える。

問　県は子どもの医療費助成を充実すべきだ

神近　勝彦　議員

答　国、県に申し入れる

神近　子どもへの医療費助成は、国や県が責任をもって施策をおこなうべきだが、現状は各市町が独自で取り組んでいる。

嬉野市は、就学前児童についても月額５００円の負担でいい。

しかし、県下の市町は財政状況もばらつきがあり、県内の子ども達に平等な医療が提供できていない。

これは大きな問題であり、県へ強く要請すべきだ。

市長　先般、県からアンケート調査があった。

知事のマニフェストに沿って入院費についての補助を先駆的にやっていこうという意向と考えた。

神近　入院のみの補助はあまり効果を感じない。

小学校へ上がる前までが一番病院へ行く状況だ。

20市町全体で強く要請すべきだ。

市長　２月ごろ市長会があるので、状況を聞いてみたい。

インフルエンザ助成金を

神近　インフルエンザ予防接種の助成は、来年度から実施できるのか。

市長　予算の枠もあるが、できるだけ早く取り組みたい。

▲ すべての子どもたちが安心できる制度を

市内の景気対策は

神近　嬉野市内の内需拡大のため、どのようなことを考えているのか。

市長　緊急融資に迅速に対応するよう指示しているし、観光客増に向け、テレビでのＣＭを早急に流したい。

また、事業等も前倒し発注ができるよう急がせている。

神近　地域活力基盤創造交付金は、内需拡大のために、市内の新築家屋に対して定住促進条例と同様な施策はできないか。

市長　効果は認めるが、他の事業に使えるか判らない。

農集排事業は赤字経営では

神近　施設管理費のみでも、年間１９００万円近い赤字で、他にも汚泥処理費や施設建設費や管布設工事の借金返済もある。

これでいいのか。

市長　県下の中でも低料金であり、県内の他地区と比較しても差がある。

ご理解をいただきながら調整する必要がある。

問 主力の観光産業、どのように浮揚していくか

芦塚　典子　議員

答 各団体との連携を進める

芦塚　観光を主力とした嬉野市にとって今年度末にかけて景気の急激な減速が懸念されるが、観光産業の現状は。

市長　昨年は２００万人を復活したが、今年度は５～10㌽減。

　10月からは大型旅館・ホテルでは40㌽減・小規模でも30㌽以上の減少で予約も例年より減少しているといわれている。

芦塚　嬉野３割、塩田は６割近く空き店舗がある。対策は。

観光商工課長　空き店舗を活用した交流センター事業やイベント開催など。

芦塚　商工観光課の職員が中心にＮＰＯを設立、町なみ再生を支援するところもある。

　市の施策としてはどうか。

市長　民間と行政の一体化には賛成である。

▲ かつてのにぎわいを取り戻せるか（塩田商店街）

芦塚　今年度は数十億円の観光産業の落ち込みが予測される。

　景気を浮揚するような特色ある観光政策が必要だが、市独自の観光政策を打ち出していくべきではないか。

市長　各種大会誘致による宿泊客の確保と医学関係の学会やシンポジウムなど学会と宿泊と観光の連携施策を展開していく。

芦塚　何らかのメインの観光施策を打ち出すべきだと思うが。

問 肥料・燃油高騰対応緊急対策事業について

太田　重喜　議員

答 国へは県を通じて伝えていく

太田　この事業についていつ頃情報を得てどうしたか。

市長　11月21日に県で説明会があり、１月28日が申請期限である。

太田　強い農業づくり交付金の原油高騰対策について、10月20日に発表され、その中には省資源対策で茶に関しても流動型の粗揉機とディーゼル積載タイプの乗用管理機についても対象になっていた。

　この市に対する説明は11月19日に県からあったと聞くが、その申請締め切りが11月28日であったと聞いた。

　私は11月26日に鹿児島・宮崎・熊本・福岡の茶業資材取扱い業者に、更に12月１日には静岡・京都・埼玉の茶生産者にもお会いして話を聞いたが、ただの１件も申請をした話は聞いていない。

　国・県へ、少しばかにしすぎではないかと強く申し入れよ。

市長　時間的な問題については、これはもう緊急対策ということであるが、国へは県を通じてその旨伝えていきたいと思う。

太田　そのくらいのことでは霞が関の人は動かない。

　案を出すだけというような施策はやめさせるべきだ。

市長　このような条件付きで制度がつくられるということについては調査しなくてはいけないと思う。

太田　肥料高騰対策の方はどうするのか。

農林課長　ほとんどの農家が対象になるようにしたい。

観光問題について

太田　観光地はどこも入り込み客が激減し、当市では５～10㌽減と聞いている。

　各地で年間通じての集客をめざしてイベントを行っている。

　嬉野のどこに何があるかをもう少し研究し、売り出す努力をして欲しい。

市長　私自身も知らない所があり、担当課とも協議していきたいと思う

市長　医療関係の学会や業務視察が増えている。
　嬉野温泉と医療の提携を進めて商品化したい。

芦塚　嬉野市を位置づけPRできる観光政策が必要。
　財政状況が悪いというだけではなく、総務省のまちづくり創出事業など自ら手をあげて資金を捻出して観光政策を徹底的にやる必要がある。

市長　国・県の予算も取り組みながら、観光・温泉保養・健康都市の組み合わせで、観光商工課も医療・学会と提携を強化していきたい。

芦塚　別府では女性の団体が、１００の観光ルートを開拓して、観光客の減少を止めている。
　嬉野市の女性も観光ルートを開拓できる。
　景観整備と嬉野魅力PR事業、食文化創出事業など緊急の施策とすべきではないか。

市長　地域ブランドの開発や近隣観光地との連携を進めて努力していく。

問　市政に対しての方針は

織田　菊男　議員

答　総合計画で進める

織田　市長は嬉野市に対して最も重い責任がある。
　嬉野市に対して考えは。

市長　三年間、嬉野市の基礎作りに努力してきた。
　今後も努力を継続する。
　私の施策を中心に取り入れて作った総合計画で推進し重点施策である地域コミュニティ事業による「温かい心で結び合うれしの」への取り組みを進める。

織田　国や県の財政は厳しいが、市の財政は大丈夫か、これを踏まえ一期目の取りまとめとなる来年の事業はどうなる。

市長　市財政は厳しいが事業の取捨選択をしながら年次計画を立て、やっていく。
　来年度は次世代を担う子どもに対し、塩田地区学校施設検討委員会の報告を踏まえ、学校整備を推進する。
　社会体育館に対しては意見を取りまとめ、できるだけ早く取り掛かれるよう次年度は協議を進め、農集に対しては処理場の建設に取り掛かる。
　企業誘致に関しては、ジーベック跡地の誘致に向け県と協議し、企業進出があるよう努力する。
　古湯建設は合併特例債を使うので全市民が公平になるよう考え、入浴だけでなく、いろいろな催しができないか考えている。
　九州お茶まつりが開催されるので、茶業関係者の協力を得て取り組む。

織田　税金の徴収率に対して考えは。

市長　嬉野市は固定資産税の滞納が主で数件の大型の滞納がある。
　大手については三件ほど話に行った。
　税の徴収は市税担当者全体でおこなっている。
　日常は専門の徴収員がおもむき、徴収能力は高いと考えている。

織田　補助金にたいしての考えは。

市長　税金を使っているので公平に市勢の浮揚になる事を前提に交付している。
　組織の維持に対しては好ましくない。
　事業について補助が必要だと考えられるものに対して決まりにのっとり、出しているし、十分吟味している。

▲ 念願の防火水槽設置工事（五町田地区）

▶アジアの森（岩屋川内）のメタセコイヤ　20年12月

▶畦川内のあじさい　20年7月

問 NHK大河ドラマに乗って嬉野のPRを

園田　浩之　議員

答 取り組みをしてみたい

園田　平成22年の大河ドラマは坂本龍馬の予定である。

　主役が福山雅治氏、歌手で俳優、年齢問わず特に女性には非常に人気のある芸能人である。

　作品は幕末の志士、龍馬の33年の生涯を幕末の経済人、三菱財閥の創設者である岩崎弥太郎の視点から龍馬を描くものと聞いている。

　幕末の志士に後ろから資金面でバックアップしたのが大浦屋お慶さんだが、彼女と嬉野茶は強い結びつきがある。

　ＮＨＫのプロデューサー鈴木氏と脚本家の福田靖氏に行政・観光協会等、共に力強い働きかけを行い、嬉野をＰＲする絶好のチャンスだと思うが。

市長　取り組みをしてみたい。

園田　大浦屋お慶さんがテレビの画面に現れて「嬉野」という言葉が出てくれば、観光面・農業面にかなりの経済効果が期待できるので、これを見逃すことなく十分な対応をしていただきたい。

▶海の彼方を望む坂本龍馬像（高知県桂浜）

茶研修施設の今後の運用は

園田　今年度の加工実績は、一番茶49件、二番茶1件、と二番茶以降が極端に少ないが、今後施設を活かすためにどのような展開をしていくのか。

農林課長　ウーロン茶、紅茶などを試みたい。

園田　将来に向けての取り組みは。

農林課長　生葉を研修用に購入し、加工製造までしながら、嬉茶楽館へ視察のお客さんへ、手土産用とかＰＲ用などを、新年度でできないかと検討している。

園田　緑茶の価格が採算割れするほど暴落している昨今、何とか活路を見出すために、若い後継者たちは嬉野茶葉を使った紅茶、あるいはウーロン茶を生産する強い意欲を感じたが、現在設定されている加工賃では採算が取れないと聞いている。

農林課長　加工賃が高いという声も大分聞く。

　検討をしながら、よりよき方向で利用をしていただける形をとりたい。

問 新幹線建設における分離発注は可能か

田中　政司　議員

答 可能性はある

田中　今回の新幹線建設は、地元にとって、建設費に係る効果を最大限に引き出すためには、工事内容によっては、建設機構が県や市に業務を委託する、いわゆる分離発注という形をとってもらうよう強く要望すべきだ。

市長　高架部分については、道路や水路などの関連があり、分離して市への業務委託の可能性があるので、要望をしていく。

田中　要望書を建設機構に提出されているが、その旨の回答書を文書で得たのか。

市長　文書による回答は得ていない

田中　県知事などと一緒に確約をとるよう努力するべきだ。

市長　県とも話し合いをしなくてはいけないと思う、要望は何回でもおこなうので、聞き入れていただけると信じている。

残土処分地はどこに

田中　前回の９月議会で、有効利用をするということであったが、どうなっているのか。

市長　市有地では、みゆき公園の再整備に利用できればと考えている。

　市有地で全ての処理は難しいと思うので、機構とも協議をしながら、民地をお願いすることにな

問 農村地域工業等導入実施計画の今後の取り組みは

副島　孝裕　議員

答 再検討の必要がある

副島　東吉田地区に農用地6・5ヘクタールでこの計画が策定されているが、計画の目的と策定時期は。

市長　企業誘致の可能地域を選定し、農業と工業の連携により就業の場を確保する目的で策定。

平成13年から平成17年までの5年間の計画。

オーダーメイド方式により進出企業が決定してから団地の造成を行うなどの案で、具体的には、企業進出までには至らなかった。

副島　その当時、地域住民への説明や、地権者の了解は得られていたか。

市長　県道沿いを中心として200名程度の雇用確保を目的として計画をしたが、当時の情勢などを考えて、塩漬け土地になる可能性を排除するため、オーダーメイドとし、農業関係者の了解をいただき、計画を作ったが、実施計画まで至らなかったので、地権者への説明をする段階までには至っていない。

副島　計画対象の農用地が農振除外地となっているため、農地・水・環境保全向上対策事業費が減額されているが、減額される事業費の総額と、それに対する対応策は。

市長　この計画は平成17年に終了し、その後、合併などの課題が出てきて、取り扱いができていないので、地権者の皆さん方の意見をいただきながら、今後検討していきたい。

産業建設課長　減額される事業費として、面積6・5ヘクタールで年額28万6000円、19年度から23年度までの5年間の事業。

副島　合併後の総合計画の中にも、基盤整備が実施された優良農地は農業生産性の高い農地として保全及び高度利用をはかり、「農村の原風景」としての活用に努めるとある。

この地区は、圃場整備された優良農地であり、吉田地区の活性化に大きく寄与している「吉田まんぞく館」の目の前にあり、吉田盆地の田園風景として将来に遺すべき貴重な財産と思うが。

市長　吉田地区の自然環境や、空気のすばらしさ、水のきれいさを壊さない、そういう企業と共存共栄するための計画として進めてきたが、煮詰らなかった。

場所等も踏まえて、計画自体の再検討をしたい。

▲ 再検討も考えられる企業団地予定地

ると思う。

案内看板を見やすく統一せよ

田中　インター周辺やみゆき公園、バスセンター周辺の案内看板をもう少し分かりやすく、統一したものにできないか。

市長　看板は主に市で管理をおこなっているが、観光団体で管理しているのもある。

観光施設の看板については、できるだけ統一した看板にするよう努力している。

▲ 残土処分予定地のみゆき公園

海外のお客様用の看板が不足しており、追加するよう既に指示をしている。

観光組織の改革は

田中　嬉野市の中心産業である観光をさらに推進するためには、現場中心の官民一体となった組織が必要ではないか。

市長　予算や人員体制で限度があり、すべて合同とはいかないが、基本は官民一体でということで進めている。

問 中期財政計画は

田口　好秋　議員

答 今以上の効率化を図る

田口　急激な経済の落ち込みで市の財政運営も厳しくなると思われる。

この度の中期財政計画策定に当たって留意された点は。

市長　総合計画に基づき積極的な発想と行動を指示したがすべての事業について財源の手当てを担当部局が国、県との情報交換に努め、精査して取り組むよう指示した。

いずれにしても、今以上の効率化をおこなう。

田口　財政計画の中で強調された点は。

市長　合併協議の際の懸案事項を早期に解決していくことが基本と考えている。

新規に発生した事業、特に耐震問題による学校整備、新幹線関連は当初の計画に入れるよう指示した。

それと、嬉野が健康保養都市で、子育てのしやすい町として売り出しているので、社会保障関係の事業について新規で取り入れるよう指示した。

塩田川浸水想定区域図について

田口　県が発表した浸水想定区域図を見ると塩田の平坦地はほとんど水没し、ひどい所は水深4㍍以上にもなるが、このことに対し市長の感想は。

問 来年度の税収をどう見ているか

山口　榮一　議員

答 1億3000万円程度が減収見込み

山口　9月以降の世界的な金融不安に伴い、わが国でも、厳しい財政状況になってきた。

企業のリストラにより非正規労働者、3万人が失業されると報道されている。

嬉野市にしても、観光客の減少、働く人の給与面、農産物の価格低迷など厳しい状況である。

現行制度のなか、来年度の税収をどう見ているか。

市長　おおまかではあるが、給与減などから1億3000万円程度の税収減を見込んでいる。

入湯税については、6㌫程度の減収見込みである。

山口　給与所得者・営業所得者・農業所得者数も年々減少している。

市民税の納税も下がると思うが見通しは。

支所市民税務課長　市民税の今の見込みは調定額で約1000万円から1500万円減収と考えている。

行政嘱託員の削減は

山口　合併をして3年になるが、18年度から始まった5年間で25億円削減の中期財政計画「嬉野市集中改革プラン」があと2年となった。

事務事業再編のなか、行政嘱託員の削減も触れられており、88名の行政嘱託員を半分まで削減し最終的には廃止して、業務を区長さんに依頼するとなっている。

各区において事情はあると思うが、厳しい財政状況のなか、私も88名は多すぎると思っている。

思い切った対策も必要であるが、以前の質問後に研究されたのか。

市長　その後、進んでいない状況である。

私どもの組織等の問題と、区長さんとしての役割は非常に重要であり、そこについての整理もしなければならないと思っている。

取り組みが遅れているので、今後協議をさせていただきたい。

山口　加入率の報酬については、配布世帯以外にもいろいろな仕事をされている嘱託員もおられるので、見直すべきだ。

市長　調整すべきだと考えている。

▶厳しい企業状況を伝える（佐賀新聞）

市長　不動ダムの完成があって完全に治水ができるということなので、体制をつくり直して訴えていく。
　それと、避難体制の見直しと、ハザードマップを早くつくり住民に知らせ対策をとっていく。

田口　浸水した時に稼動するのが排水機場のポンプだが、揚水能力の見直しと整備が必要と思うが市長の見解は。

市長　全体的な見直しは専門家の意見を聞く。
　質問の趣旨は理解をしている。

田口　救命ボートの整備状況は。

本庁総務課長　平成3年に購入した9・9馬力の船外機つきアルミボートが一艘だけある。

田口　過去の水害時の例からして、浸水に対して全般的に整備する必要があると思うが。

市長　平成2年以降大きな水害は来ていないが、いろいろなことを想定して全体的に整備できるよう検討していく。

▲ 平成2年の水害（原町）

問　安全な通学路になるのはいつ

川原　等　議員

答　県に対して要望している

川原　現在、中学生の登下校はどのような経路か。

教育長　登校は新設している通学路を利用、下校は国道の右側の歩道が接続していないため、国道の左側を通行している。

川原　コンビニの周りが完了すれば、塩田で一番危険と言われた箇所が、一番安全な通学路になる。
　早急に歩道の整備が進むよう努力してほしい。

市長　再度、鹿島土木事務所に対してお願いする。

川原　国道498号線の通学路が未だに完了していない。
　塩田町で一番危険とされてきた通学路を、田んぼの中に作ってはと提案して5年間もの歳月が経過している。
　しかし、コンビニの前がまだ未整備である。
　県に対して強く要望をしていただきたい。

市長　指摘の箇所については、県土木事務所も重点地区として計画している、引き続き実現に向けて要望をしていく。

▲ 歩道が切れている通学路

▲ 火災警報器について

川原　消防法の改正により、既存住宅に火災警報器の設置が義務づけられた。
　市の対応策を伺う。

市長　市報・チラシ・パンフレットの配布や団体、地域の会合などに出向き説明をしている。

川原　市営住宅に取り付ける場合の費用と、また、設置時期の予定はあるか。

産業建設部長　112戸分になるので280万円程度と考えている。
　また、取付け時期は、平成22年度の国庫補助事業でおこなう。

川原　火災警報器は1個4000円から5000円と思われる。
　1世帯当たり2万円ほどになるので、住民に理解してもらえるよう広報活動をお願いする。

▲ 校庭の芝張りについて

川原　鳥取県では、校庭の芝張りを進めている。
　理由は、目に優しい・芝生の上で寝転がって遊ぶ・芝生に虫がくる・その虫を食べにトンボがくる・トンボを食べに鳥がくる・自然に理科の勉強ができる・足が速くなるなど良いことばかり。
　市内の校庭でもできないか。

教育長　検討の価値は大いにあると思う。

問 米・大豆の代金支払いを急げ

西村　信夫　議員

答 関係機関に要望する

西村　20年産米・大豆の品質と取引価格は。

市長　夢しずくは台風被害もなく前年比138㌫、価格は（一等60㌔グラム）で1万5099円。

ヒノヒカリは夏場の高温影響で前年比54㌫、1万4777円である。

20年産大豆の作況指数120と見込まれ、10㌃当たり収穫量は約200㌔グラムで価格は（一等大粒）1万2000円程度である。

西村　20年産米・大豆代金の最終支払いは。

市長　米は11月に概算払い、一等1万円と追加金1000円が支払われる。

最終支払いは倉庫料など販売経費を精算し、2年程度かかる。

大豆の概算払い60㌔グラムで3700円、追加金3400円で最終精算は22年3月頃になる。

西村　肥料、生産資材の高騰で農家の資金繰りは大変である。

早期精算を急ぐべきではないか。

市長　生産者から概算払いの額を上げ、早期精算の要望がある。

今後、関係機関に要望する。

学力テスト公表について

西村　全国学力テスト成績公表について市教育委員会の考えは。

教育長　文部科学省の実施要領は学力や学習環境等の状況を把握し、教育施設や指導の改善につなげる調査であり、学校名の公表はおこなわないことになっている。

本市も結果の公表はしない。

西村　全国では秋田県、大阪府など公表の動きが加速している。

嬉野市で情報公開請求があった場合は一部公表すべきだと思うが。

市長　今回の問題は開示すべきでないと思っている。

理由はテスト当初、公表しない事を前提にテストが実施されたわけで、当初の計画自体守るべきだと考えている。

問 古湯・新幹線・塩田津を活かしたまちづくりを

秋月留美子　議員

答 既存の商店街・旅館街との関連を考慮し進める

秋月　古湯温泉は愛着が持たれた歴史的建造物で、約1万2000人の再建要望の署名があったことを何らかの形で残しては。

外観は創建当初のものであり、館内の様子は、完成時期はいつ、管理運営については市直営なのか、指定管理者なのか。

市長　完全木造での復元を目指している。

市営としてスタートし、しばらく経営して後、民間のノウハウを加味できる指定管理者制度に移行できればと考えている。

企画課長　屋根の高さが14㍍、1階は男女2槽ずつの大浴場・貸し切り湯3箇所、2階は家族湯が2箇所・休憩室・ベランダ・温泉の歴史等を展示できるギャラリーを設け、21年度には完成させたい。

秋月　完成すれば景観重要建造物に指定されると思うが周辺の景観は。

市長　平成の完全木造ということですばらしい価値が出てくると思う。

景観計画に地域全体を考え、外湯としての魅力も加味し、旅館の方々と連携しながら利用できたら一番いいと思う。

秋月　新幹線嬉野温泉駅を視野に入れたまちづくりを広範囲にしていかなくてはいけないと思うが、あくまで嬉野は古湯を核とした温泉観光地である。

中心地が空洞化にならないまちづくりはどういう

▲ 景観が良くなった古湯界わい

購入用地の活用について

西村 市役所前（元肥前石油跡）の活用策は。

市長 駐車場として新年度予算で計画する。

西村 補正予算で早急に整備して市民の利便性をはかるべきである。

▲ 機械利用組合による大豆の収穫（馬場下地区）

問 ふるさとを愛する教育は

答 具体的な例を出しながら、周知徹底する

小田 寛之 議員

小田 地方は雇用がないので、若い人が転出していくとよく言われているが、地元に就職をしているにもかかわらず、会社をやめてまで県外へ出ていく若者もいる。

生まれて就職できる年齢になるまで嬉野市民がお金を出し合ったからこそ、学校にいくことができ大人になった、ということを理解し、今度は納税という形で嬉野市の子供たちを育てるなど、大人になったら生まれ育った嬉野市民の一人としてどうあるべきかをもう少し子供の段階で教える必要があると思うが。

教育長 小・中学校では社会科における租税教育の中で指導している。

そのほかに、児童・生徒は租税教室を特設で設定し、学習している。

平成17年度から今年度まで、全小学校で実施しており、また、中学校では本年度、全校で実施する予定となっている。

小田 例えば、学校の先生が生徒に、ほかの方が納税されて、お金を出し合っているから教育を受けられているとか、授業だけでなく、日ごろより意識づける取り組みはあるか。

教育長 実話的なものについては、やはり今後具体的に例を出しながらしていく必要があるのではないかと思う。

今後、周知徹底をしたい。

ふるさと納税について

小田 わざわざ寄附をするというのは面倒くさいことだ。

相当ふるさとに愛情がある人でないと、ふるさと納税をしてくれないと思う。

長期的に取り組まなければいけないのは、市外に出られる前に、嬉野に対する愛情というのをもっと強く育んでもらうことだ。

市長 いろんな方にお願いしてきて感じたのは、言われるとおりである。

ふるさとを離れられた方が自発的に納税をしていただくというのが一番いい形なので何か方法を探って努力をしていきたい。

▲ 若者には地元で働いてもらうのが理想

市長 駅と旅館街・商店街との距離感をなくすような整備を努力していく。

秋月 駅舎のデザイン自体が景観そのものとなる。

デザインコンペで募集したり、岩見沢駅舎デザインで最優秀賞を受賞された佐賀県出身の西村氏にお願いできないか。

市長 負担金での駅の整備なので鉄道運輸機構ならびにJRが整備し、そのなかで意見を述べ、取り入れていただく。

秋月 文化的遺産の塩田津を観光に繋げていくには建物内での物品販売や飲食できることが必要。

市長 住民の方々が活用されることにより、魅力が出てくるし、今後、出店などをお願いしていく。

秋月 平成20年5月に法制化された歴史的風致事業補助を活用できないか。

市長 整合性を調査し、再び補助が得られるか勉強する。

委員会は南へ北へ 視察報告

文教厚生委員会

塩田津の保存と活用はどうすすめる 日向市と朝倉市を調査

宮崎県日向市美々津は、昭和61年12月重要伝統的建造物群保存地区に選定された。

指定以来修理件数99件事業費8億3800万円でおこなわれていたが、高齢化が進み空き家も23棟あり、これから修理・修復していく上で、負担金や所有者確認問題もある。

朝倉市秋月は、平成10年4月に国からの選定を受け、保存修理が年5棟の計画でおこなわれ、現在50棟が修復されている。

また、防災施設も整備されており、多くの観光客が訪れている。

委員会の意見

両市とも先人の築いた貴重な財産を未来に向け残していくという強い意志を感じた。

築造当時の姿を復元するためには、専門的な職人を育てていくことが大事である。

塩田津においても文化財保護と町並み保存を最重要課題とし、取り組まれているが、将来の財政課題を念頭におき慎重な事業推進が望まれる。

塩田津の文化財活用と町の活性化を促すためにも観光との連携は必要と思えるが、家屋の各時代を感じる美々津でも観光客誘致に取り組まれている。

しかし、普通の民家だけでは集客効果は見られなかった。

▲伝建地区視察（日向市美々津）

総務企画委員会

観光客の集客働きかけはどうおこなう 山形市と上山（かみのやま）市へ

観光客集客について、山形県山形市と上山市を調査した。

山形市は人口25万40００人、蔵王スキー場・蔵王温泉など、大自然を取り込んだ観光名所を抱えており、平成14年からは「台湾・韓国・中国・アメリカ」からの集客に力を注いでおられた。

イベントにしても大花火大会に30万人、花笠祭りに１００万人、７割は県外からとのことである。

一方、上山市は、人口3万５０００人で、高地トレーニング施設と、温泉利用の温泉療法の効果を組み合わせ、国が今年度創設した「地方の元気再生事業」に採択され、１８００万円の事業費で取り組みをされている。

まちづくりの賑わいは観光客がまち歩きするこ

とが大切と考え、宿泊と食事が別で中心市街地の活性化ができつつある。

委員会の意見

嬉野市においても市街地を散策できる環境つくりと、さらに高齢化社会を見据え「ほっとマンマ・イン嬉野」を嬉野温泉おかみの会と市の共催で開催されているように、他の温泉地との違いを明確にし、嬉野温泉ならではの仕掛けが必要ではないか。

▲新幹線かみのやま温泉駅にて

産業建設委員会

平成26年開業の飯山市駅周辺の都市計画を調査

長野県飯山市・栄村へ

飯山市ではJR飯山線の飯山駅を併設した新幹線駅が計画されており、栄村では市町村合併をせず、独自の自治体運営がされていることで調査した。

飯山市は202平方キロメートル人口2万4890人。豪雪で知られた栄村は272平方キロメートル人口は2409人、合併しない村として有名である。

委員会の意見

飯山市では北陸新幹線飯山駅周辺整備事業に向け、推進協議会・周辺整備権利者会・軌道敷権利者会を設立し、一方で住民説明会を開催して住民の理解を深め、更には市民の夢を語る目的として、周辺まちづくり協議会を設立し、各種協議会での視察・研修・陳情などの軽費を、市民が（年間500円　現在200円）負担し、市民が一体となって推進されている。

嬉野市でも、周辺整備については、若い世代の考えと、夢が語られるような、市民が一体となれる協議会を早急に立ち上げるべきである。

また、栄村の田直し事業（水田の整備）は、1反当たり40万円を目途に農家負担50パーセントで、また、村道の道直し事業の工事費の35パーセントは地元負担で行われている。

嬉野市においても、「私が困ることは、私がやる」という考えを持ってもらえる政策を取り入れていくことも、必要ではないか。

▲模型を前に説明を受ける委員

人事

固定資産評価審査委員に同意

嬉野市固定資産評価審査委員の任期が平成21年2月16日で任期満了となるため、今議会に提案されました。

任期は平成21年2月17日から、平成24年2月16日までの3年間、評価審査をしていただくこととなります。

小野原康男　氏（71才）　再任
嬉野町湯野田

森本正敏　氏（73才）　再任
嬉野町湯野田

松尾貞明　氏（67才）　再任
塩田町原町

桑原和隆　氏（69才）　新任
塩田町畦川内

耐震診断結果について協議

12月25日、学校問題特別委員会で学校耐震診断結果について協議をおこないました。

久間小学校の耐震診断結果が示され、昭和49年建築された、普通特別教室棟1階、管理特別教室棟2階、昭和56年建築の体育館2箇所がIs値（耐震構造強度指標）基準強度0・7より低く補修工事の必要があります。

耐震補強工事について国では現在、指導期間中におこなえば、耐震強度0・3以下については工事費の3分の2、0・3以上については3分の1が国の補助対象になります。

また、大草野小学校・塩田小学校・大野原小学校の耐震診断結果については、21年2月末ごろまでには示される予定ですが、少子化の問題もあり、年々少なくなる生徒数のことを考えれば、今後の学校問題については将来を見こしての対応が求められます。

会議のあと、耐震補強の終わった塩田中学校を視察しました。

12月24日、生徒たちも今までの仮設校舎から引越しをし、1月から補強の終わった校舎で勉強することになります。

▲補強が済んだ塩田中学校

こども議会開催

11月22日、嬉野市になって初めての「こども議会」が本会議場において開催されました。

市内の中学校から選ばれた18人の生徒達が、議長と議員役となり、市議会議員が担当課長役となって、一般質問の形で進められました。

生徒議員からは、「利用しやすい塩田図書館を」、「歩行者にやさしい歩道づくり」など多くの問題について質問があり、答える市議もあらかじめ調査などおこない、緊迫した雰囲気のなか、答弁をいたしました。

なかには、再質問もあり、中学生とは思えないすばらしい質問がありました。

議会の雰囲気を経験されたことで、議会とはどのようなものか解っていただいたものと思います。

▲将来を担うこどもたち

議会広報編集委員会

委員長　小田　寛之
副委員長　大島　恒典
山口　榮一
太田　重喜
秋月留美子
梶原　睦也

発行／嬉野市議会　議長　山口　要
編集／議会広報編集特別委員会
〒849-1492　佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲1769
TEL0954-66-9127　FAX0954-66-3119